

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「北米リート・セレクトファンド Cコース（定率目標分配型／為替ヘッジあり）（愛称 ほくと星）」は、このたび、第6期の決算を行いました。

当ファンドは、北米リート・マザーファンドを通じて、米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券（リート）に投資し、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第6期末(2019年5月15日)

基準価額	10,569円
純資産総額	90百万円
第4期～第6期	
騰落率	6.1%
分配金(税引前)合計	145円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

北米リート・セレクトファンド Cコース (定率目標分配型／為替ヘッジあり) (愛称 ほくと星)

追加型投信／海外／不動産投信

作成対象期間：2018年11月16日～2019年5月15日

交付運用報告書

第4期(決算日 2019年1月15日)

第5期(決算日 2019年3月15日)

第6期(決算日 2019年5月15日)



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

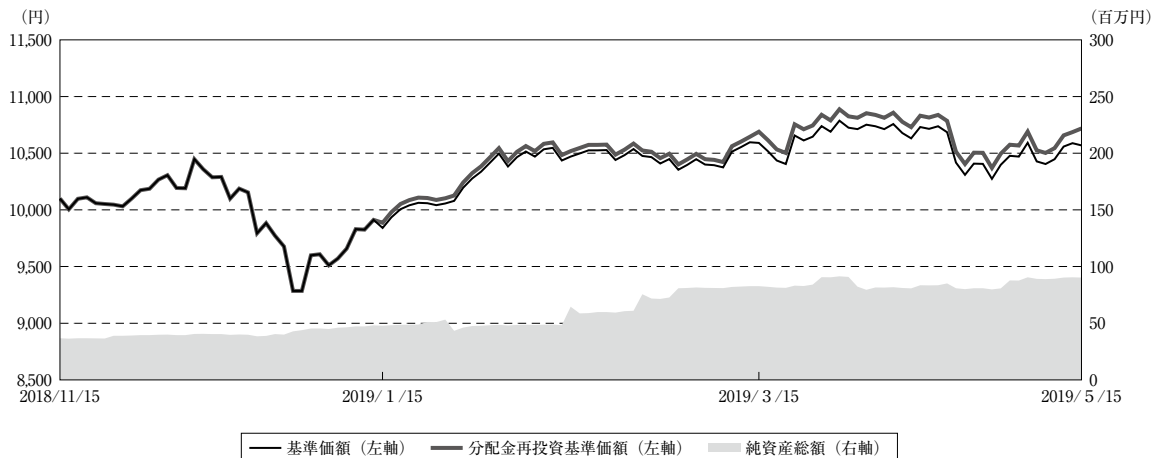
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2018年11月16日～2019年5月15日）



第4期首：10,100円
 第6期末：10,569円（既払分配金（税引前）：145円）
 騰落率：6.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年11月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国のウェルタワースやケアトラストREITなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・米国のメイスリッチやサイモン・プロパティーズグループなどが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替が対米ドルや対カナダドルで円高となったことがマイナスに影響しました。

また、当ファンドにおいては、為替市場において、対米ドルやカナダドルで円高が進んだことから、為替ヘッジを行ったことがプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

（2018年11月16日～2019年5月15日）

項目	第4期～第6期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	83	0.803	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(45)	(0.439)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(36)	(0.348)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.045	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(5)	(0.045)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	4	0.036	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.004)	その他は、保有しているカナダ銘柄のみなし分配に係る税金等
合計	92	0.885	
作成期間中の平均基準価額は、10,312円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

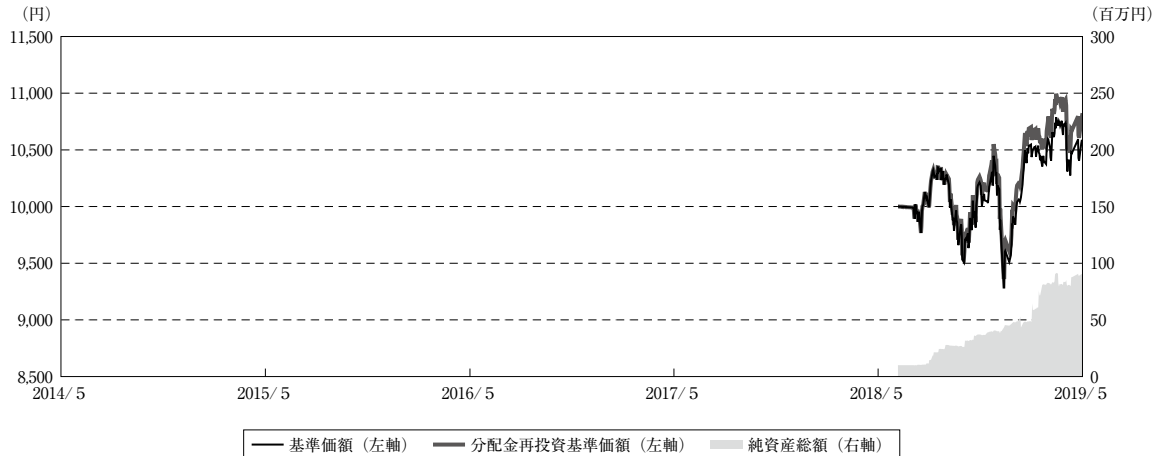
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2014年5月15日～2019年5月15日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2018年6月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

		2018年6月20日 設定日	2019年5月15日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,569
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	245
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	8.2
GPR High Income REIT Americas Index騰落率	(%)	—	14.7
純資産総額	(百万円)	10	90

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年5月15日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) GPR High Income REIT Americas Indexは当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

（2018年11月16日～2019年5月15日）

北米のリート市場は、リーートの堅調な業績動向などが好材料となり上昇しましたが、2018年12月に入ると、世界経済の減速懸念を背景とした株安などを受けて、投資家心理が悪化し、反落しました。2019年1月に入ってから、金融当局が金融政策の正常化を急がない姿勢を示したことに加え、良好な経済指標などを受けて、景気減速懸念が後退し、戻りを試す展開となりました。2月以降も、米中貿易協議の進展期待を背景に投資家心理が改善したことなどから、底堅い展開となりました。4月に入ってから、長期金利が上昇基調となり、リーートの利回り面での投資魅力が低下したことから、下落しました。しかし4月下旬以降は、世界景気の減速懸念が再燃し、長期金利が低下に転じたことや、リーートの2019年1-3月期決算が概ね良好な内容となったことなどを受けて、反発する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年11月16日～2019年5月15日）

<北米リート・セレクトファンド Cコース（定率目標分配型／為替ヘッジあり）（愛称 ほくと星）>

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、概ね90%以上で推移させ、高位の組入れを維持しました。また、実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り為替ヘッジを行い高位のヘッジ比率を維持しました。

○北米リート・マザーファンド

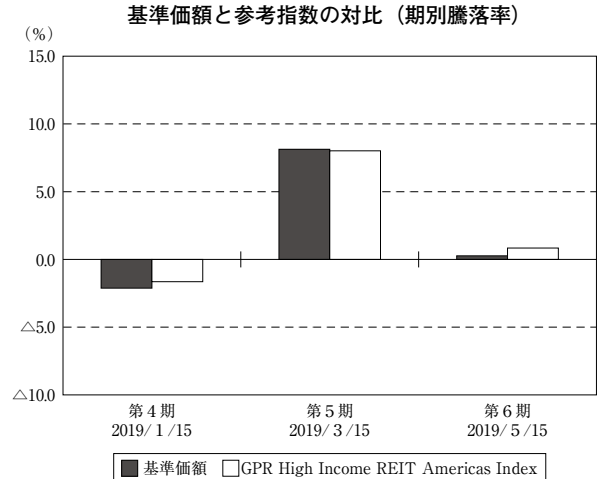
リーートの組入比率は、概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

北米の経済動向や市場規模および個別銘柄のバリュエーションに注目し、市場別の投資比率や個別銘柄の組入比率を随時変更しました。また、保有銘柄の入れ替えを行い、最適なポートフォリオの構築を目指しました。個別では米国のナショナル・リテール・プロパティーズやリテール・プロパティーズ・オブ・アメリカなどを全て売却した一方、米国のWPキャリーやキムコ・リアルティなどを新規に買い付けました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年11月16日～2019年5月15日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、GPR High Income REIT Americas Index です。

分配金

（2018年11月16日～2019年5月15日）

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり）に目標分配率（各期0.5%（年率3%）相当）を乗じた額に基づき、継続的な分配を目指しました。

当作成期間におきましては、主に配当等収益を原資として、第4期の決算期に、1万口当たり45円（税引前）、第5期、第6期の決算期に、それぞれ1万口当たり50円（税引前）、合計145円（税引前）の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第4期	第5期	第6期
	2018年11月16日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年3月15日	2019年3月16日～ 2019年5月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	45 0.455%	50 0.470%	50 0.471%
当期の収益	29	45	39
当期の収益以外	15	4	10
翌期繰越分配対象額	7,111	7,115	7,108

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

北米のリート市場は、米中貿易摩擦への警戒感が残るものの、リーートの利回り面での魅力や業績拡大期待が相場を下支えする要因となり、底堅い展開になると予想します。リートは主に国内に保有する不動産の長期契約に基づいた安定的な賃料が収入源であるため、米中貿易摩擦による世界景気の減速の影響が比較的小さいことが支援材料になると考えられます。また、世界景気の減速や低インフレを背景とした低金利環境の長期化が利回り面でのリーートの魅力を高めると考えられます。業績面では、主要リーートの2019年1－3月期決算は概ね堅調な内容であり、旺盛な不動産賃貸需要を背景にリーートの業績拡大が継続すると考えられます。

（運用方針）

＜北米リート・セレクトファンド Cコース（定率目標分配型／為替ヘッジあり）（愛称 ほくと星）＞

主要投資対象である「北米リート・マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては、組入比率が高位にならない場合があります。外貨建資産（北米リート・マザーファンドに属する外貨建資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

○北米リート・マザーファンド

外貨建資産の運用指図に関する権限をリーフ アメリカ エル エル シーに委託しており、北米のリート等の運用は同社が行っています。同社では四半期ごとに戦略投資委員会を開催し、長期的な見通しに基づき北米各国の投資配分およびセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

お知らせ

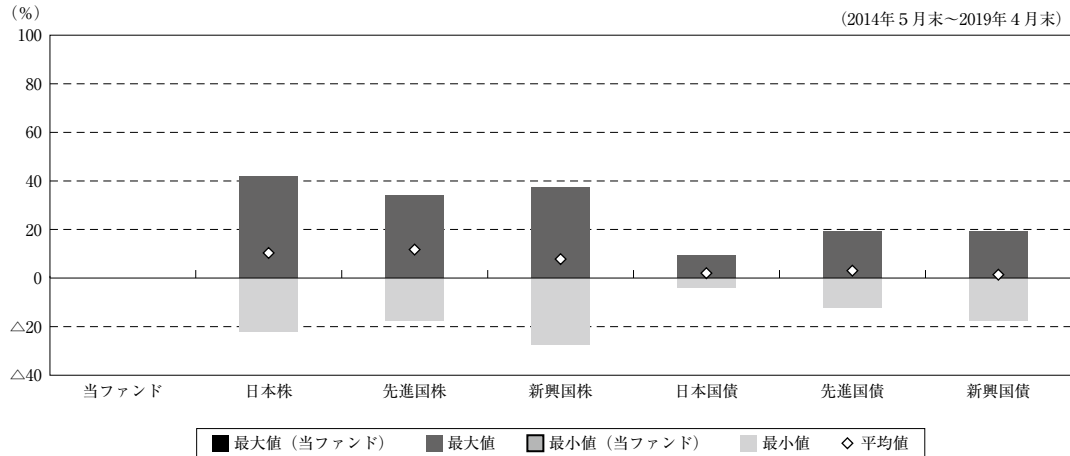
・投資者のライフステージに合わせたコースの選択が容易になるよう、信託財産留保額を廃止いたしました。（実施日：2019年2月12日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2018年6月20日から原則として無期限です。	
運用方針	北米リート・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券（リート）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	北米リート・マザーファンド	米国およびカナダの取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に投資を行い、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。 運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託します。
目標分配率	<p>定率目標分配型は、基準価額の上昇時には分配金額は多くなり、基準価額の下落時には分配金額は少なくなります。</p> <p><1万口当たり、税引前> 各期0.5%（年率3%）相当</p> <p>※上記は、ポートフォリオの利回りや、予想される分配原資等をもとに委託会社が設定した1万口当たりの当面の目標分配率です。</p> <p>1万口当たりの分配金は、決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり、当初は1口＝1円）に目標分配率を乗じた額に基づき、委託会社の判断により決定します。</p> <p>計算期間中の基準価額の変動にかかわらず、上記の継続的な分配を目指します。このため、計算期間中の基準価額の上昇分を上回る分配を行うことがあり、分配金には、一部または全部、元本の払戻しに相当する部分が含まれる場合があります。また、定率で分配を行うことから、計算期間中の基準価額の上昇分を上回る分配が続く場合には分配金の金額が小さくなっていきます。</p> <p>各期中において上記の目標分配率の実現を目指すことを基本としますが、各期末において目標分配率通りの分配が実現されることを保証するものではありません。また、当該分配額が当期の収益を表すものではありません。市場環境等によって基準価額が大幅に下落した場合等には、上記の目標分配率に応じた分配額の実現が困難となる場合があります。</p>	
分配方針	<p>年6回、1月、3月、5月、7月、9月および11月の各月の15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。</p>	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	-	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2014年5月から2019年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2019年5月15日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
北米リート・マザーファンド	95.1%
組入銘柄数	1銘柄

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

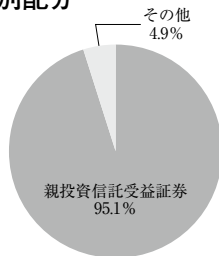
（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○外国為替予約取引の状況

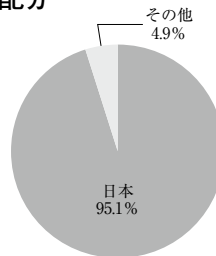
通貨		比率
買い	売り	
日本円	米ドル	80.4%
日本円	カナダドル	5.7%

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する予約外貨評価額の割合です。

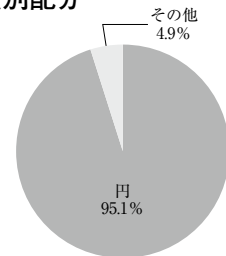
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

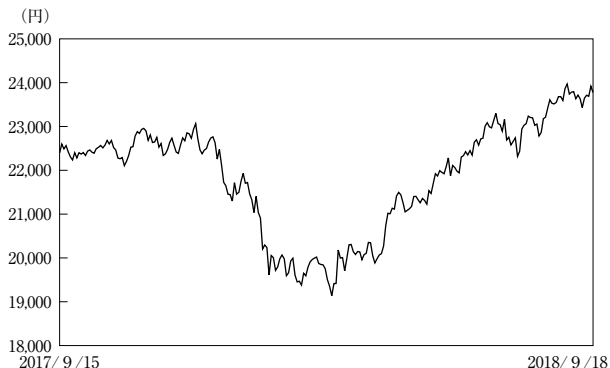
項目	第4期末	第5期末	第6期末
	2019年1月15日	2019年3月15日	2019年5月15日
純資産総額	47,781,081円	82,653,289円	90,329,629円
受益権総口数	48,553,259口	78,043,680口	85,468,668口
1万口当たり基準価額	9,841円	10,591円	10,569円

（注）当作成期間（第4期～第6期）中における追加設定元本額は82,006,000円、同解約元本額は32,924,083円です。

組入上位ファンドの概要

北米リート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月16日～2018年9月18日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	52 (52)	0.239 (0.239)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	1 (1)	0.004 (0.004)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	77 (20) (56)	0.353 (0.093) (0.259)
合計	130	0.596

期中の平均基準価額は、21,750円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

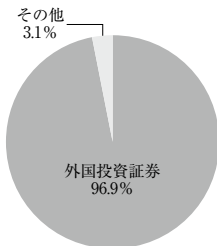
【組入上位10銘柄】

(2018年9月18日現在)

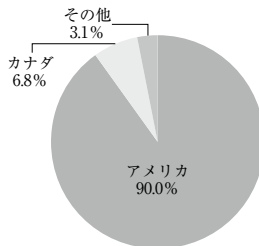
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1 WELLTOWER INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.8%
2 SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	米ドル	アメリカ	8.8%
3 VENTAS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	7.3%
4 REALTY INCOME CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	6.9%
5 MACERICH CO/THE	投資証券	米ドル	アメリカ	5.7%
6 TAUBMAN CENTERS INC	投資証券	米ドル	アメリカ	4.6%
7 NATIONAL RETAIL PROPERTIES	投資証券	米ドル	アメリカ	4.0%
8 OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	投資証券	米ドル	アメリカ	3.7%
9 STORE CAPITAL CORP	投資証券	米ドル	アメリカ	3.6%
10 PHYSICIANS REALTY TRUST	投資証券	米ドル	アメリカ	2.9%
組入銘柄数	41銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

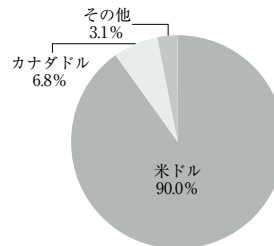
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。